


# 製品安全データシート (MSDS)




① 製品および会社情報

2017.10.1改定

製品名	木守り専科 FIRE Protect (屋内屋外共用) カラー
会社名	株式会社 シオン
住所	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-8-1
電話番号	019-677-7060
FAX番号	019-637-3190
担当部門・担当者	製造開発室 藤田 悠

<b>製品名</b>	<b>木守り専科 FIRE Protect (屋内屋外共用) カラー</b>
------------	--

② 危険有害性の要約	GHS ラベル要素	 引火性液体
	予 防	熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざけること 禁煙 保護手袋、保護衣および保護眼鏡/保護面を着用すること
	対 応	初期の火災には、粉末、炭酸ガス、泡消火器、乾燥砂などを用以消化する
	保 管	涼しく風通しのところに保管する
	廃 棄	産廃物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分する

③ 組成・成分情報	単一製品、混合物の区別：混合物		
	成分：精選亜麻仁油、紅花油、天然無機顔料、ホウ酸系防炎剤、無鉛乾燥剤		
	危険な含有成分		
	無鉛乾燥剤	 引火性液体  皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ	0.5%
本品には以下の18物質は含まれておりません。 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、フタル酸ジ・n・ブチル、スチレン、クロロピリホス、ノナール、テトラデカン、アセトアルデヒド、フタル酸ジ・2・エチル、ヘキシル、ダイアジノン、フェノブカルブ、フタル酸エステル、リン酸エステル、有機リン ホルムアルデヒド放散等級区分 告示対象外			

官報公示整理番号・CAS番号・国連分類及び国連番号・PRTR法・化審法番号・労安法通知物質：該当なし

④ 応急処置	吸 入 した 場 合	ミストを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気の場合に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	付着部又は接触部を石鹸で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
	眼に入った場合	直ちに多量の水で異物感がなくなるまで洗眼する。異物感がある場合は、眼科医の手当てを受ける。
	飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける。

<p>⑤ 火災時の措置</p>	<p>消 火 剤 消 化 方 法 消 化 を 行 う 者 の 保 護</p>	<p>粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。 水をかけると火災を拡大することがあるので、使用してはいけない。 初期の火災には、上記の消火剤を用いて消化する。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効。 消化作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。</p>
<p>⑥ 漏出時の措置</p>	<p>人体に関する注意事項 環境に対する注意事項 少 量 流 出 時 多 量 流 出 時</p>	<p>十分な換気を心がけ、付近の着火源となるものを取り除く。 河川や下水に排出しないように注意する。 紙、布（ウェス）等に吸収させて回収し、それらは焼却または地域条例に従い廃棄する。 火気を遠ざけ、バケツ、ヒシヤク等で汲み取り、密閉できる容器に移した後、可能な限りぬぐい取り、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。その場合、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。</p>
<p>⑦ 取扱・保管 上注意</p>	<p>取 扱 上 の 注 意 保 管 上 の 注 意</p>	<p>取扱場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取り扱い後は手洗いとうがいを行ふ。 容器はしっかりと密閉して、換気良好な冷暗所に保管する。 保管の際も、発火元からは遠ざける。</p>
<p>⑧ 止 及 び 保 護 措 置 暴 露 防 止</p>	<p>管 理 濃 度 許 容 濃 度 設 備 対 策</p>	<p>設定されていない 設定されていない 不要</p>
<p>⑨ 物 理 的 及 び 化 学 的 性 質</p>	<p>外 観 等 物 理 的 形 態 変 化 引 火 点 自 然 発 火 点 発 火 性 燃 焼 又 は 爆 発 範 囲 蒸 気 圧 蒸 気 密 度 溶 解 性 分 解 温 度</p>	<p>形状：常温で液体 色：各カラー色 匂い：僅かな亜麻仁油臭 沸点：194℃以上 融点・凝固点：データなし 153℃以上 200℃以上 紙、布等に多量に蓄積すると酸加熱により自然発火することがある。 データなし データなし 1.0以上 水に難溶 データなし</p>
<p>⑩ 及 び 反 応 性 安 定 性</p>	<p>安 定 性 ・ 反 応 性 危 険 な 反 応 避 け る べ き 条 件</p>	<p>空気と接触して徐々に酸化重合する。 塗料が浸透した布（ウェス）等が、熱を発生する恐れがある。（自然発火） 高温、過熱。</p>
<p>⑪ 有 害 性 情 報 ※ 1</p>	<p>急 性 毒 性 皮 膚 腐 食 性 ・ 刺 激 性 眼 刺 激 性 呼 吸 器 感 作 性 皮 膚 感 作 性 生 殖 細 胞 変 異 原 性 発 が ん 性 生 殖 毒 性</p>	<p>経口：LD50 2000mg/kg以上（限度試験） 吸入：データなし 知見なし 刺激性なし データなし なし 陰性 国際的機関で発がん性と評価された事例はない 生殖毒性なし</p>

⑫ 環境影響情報	生体毒性 残留性／分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 水生環境有害性	製品としての情報なし 製品としての情報なし 製品としての情報なし 製品としての情報なし 急性：水に対する溶解性が極めて低く溶解度以下では有害影響はない 慢性：低蓄積性
⑬ 注意 廃棄上の		少量ずつ焼却廃棄する。 産廃物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分を行うか、委託をすること。 家庭ごみとは一緒に処分しないこと。 下水には流さないこと。
⑭ の注意 輸送上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器を転倒させたり、落下したり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。（内容物漏洩防止）</li> <li>・引火性液体なので「火気厳禁」。</li> <li>・その他、法令に定めるところに従う。</li> </ul>
⑮ 適用法令	消 防 法	危険物第四類 動植物油類  無鉛乾燥剤：危険物第四類 第3石油類（非水溶性液体）  建築基準法改正の規制を受けない。
⑯ 他 その		参考資料 1. 製品安全データシート作成資料 JIS Z 7250 2. 原材料の製品データシート（各原料メーカー）

※1 人についての症例、疫学的情報を含む。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しており、情報の正確さや安全性を保証するものではありません。取り扱いには最新の注意が必要で、ご使用者各位の責任において安全にご使用ください。本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。